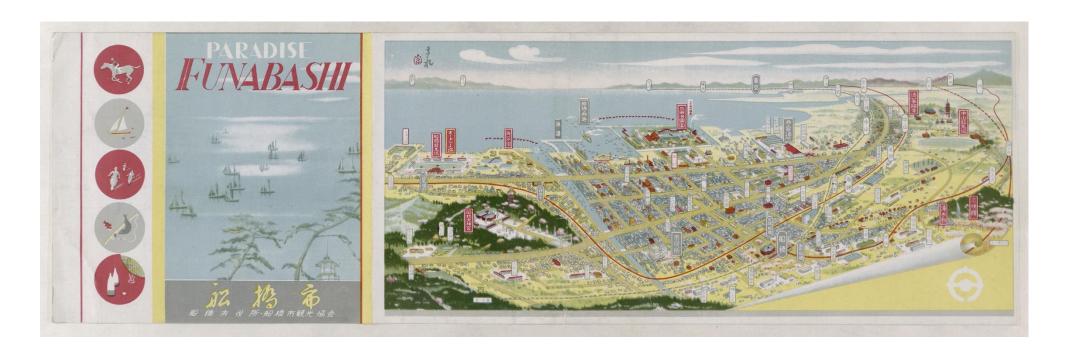
## 『PARADISE FUNABASHI』(船橋市観光協会、昭和26年)





一つ、連いたかったのひと賞を、 かくず調の物を達 をじゃない~ あなたの様で	海は広重 かぼろ月	一、蒸り知らない赤い花	船橋小明	四、仮は変張日のその人の 実の由から島田越し 年がる動機意気のよう (紅下略)	二、海は戻すても入時窓の ・一、本報をはかなびう ・ (以下略)	総ので同分のできた機能 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	二、富士は自砂上巡り安房し	・	给
で、 のない別れを開催し おれても選手を登録 さの心と三切のを	をより見をゆてその日から 使けたねがいる大神宮の かす工株が思んりょか	三、競馬場との各所に	作品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		深いて聴気に減まったす。 (以下略)	七、他はほう・・の紅魔音線(江下略)	好きないのと選びのしく		
		製不	(4) (4)	(1- m) (1- f) (1- f) (1- f)		重 位 辺 谷 居 代 た 観 た 朝 ・ 朝		100	













海光美